

韓国農林畜産食品部プレス（2019年6月30日18時00分付け）

## 2019年7月1日よりアフリカ豚コレラ（ASF）精密検査全国すべての豚農場に拡大

- これまでの特別管理区域、放牧型農場などを検査した結果、すべて陰性/全農場の拡大検査 -

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QE8JTJGYmJzJTJGbwWFmcmEIMkY2OCUyRjMyMDgzMCUyRmFydGNsVmllldy5kbyUzRmJic0NsU2VxJTNEJTI2cmdzRW5kZGVtdHIIM0QIMjZiYnNPcGVuV3JkU2VxJTNEJTI2cmdzQmduZGVtdHIIM0QIMjZwYXNzd29yZCUzRCUyNnNyY2hDb2x1bW4lM0QIMjZyb3clM0QxMCUyNmlzVmllld01pbmUIM0RmYWxzZSUyNnBhZ2UlM0QxJTI2c3JjaFdyZCUzRCUyNg%3D%3D>

（以下、機械翻訳などによる仮訳）

### 《主な内容》

◇（推進の背景）アフリカ豚コレラ（ASF）感染の有無を確認するために推進中の「ASF 精密検査（血液検査）を全国すべての豚農場に拡大して実施

（※）これまでの検査の推進（すべて陰性）：①特別管理地区内の養豚場（5月31日～6月11日）→②全国食品残渣委給与農場（6月7日～14日）、→③全国放牧型農場（6月17日～21日）→④全国豚密集飼育農場団地（6月17日～現在検査中）

○（検査日時）2019年7月1日～8月10日、40日間

○（検査対象）約4,900戸（全国すべての豚農場6,300戸中、既に検査を完了した農場は除く）

○（検査機関）市道動物衛生試験所（本所及び各支所）

□ 農林畜産食品部（長官：イゲホ、以下農食品部）は、アフリカ豚コレラ（ASF）の国内流入を防ぐための最高レベルの防疫措置の一環として、現在推進中の「アフリカ豚コレラ（以下、ASF）精密検査（血液検査）を全国すべての豚農場に拡大」して実施する。

○農食品部は、5月30日、世界の動物保健機関（OIE）から北朝鮮 ASF 発生の事実を確認した後、国境地帯など14の市・郡を特別管理地域に指定し、特別検査隊を編成して防疫現場を点検し、農場消毒と消石灰塗布、精密検査等を実施してきた。

○ASF 精密検査は、特別管理地域内の豚農場（624戸、5月31日～6月11日）、全国の食品残渣給餌農場（257戸、6月7日～14日）、全国放牧型農場（35戸、6月17日～21日）について段階的に実施し、検査結果はすべて「陰性」で確認した。

□ 農食品部は、現在6月17日から全国の豚密集飼育農場団地（49団地617戸）についてもASF 臨床観察と精密検査を進めている。

○全国すべての豚農場（約6,300戸）に拡大して7月1日～8月10日までASF 精密検査を実施する計画である。

（※）既に検査を完了した（特別管理地域農場、放牧型農場、食品残渣給餌農場、豚密集飼育農場

団地) は、検査から除外。

- 併せて、農食品部は「ASF 流入を防止するため畜産農場と畜産関係者は、ASF 発生国訪問を自制し、農場で従事している外国人労働者などが海外訪問した後、入国時の農場出入りを 5 日間禁止すること、農場の消毒など防疫上の注意を徹底履行すること」を要請した。